

【令和5年度 保健体育科授業改善推進プラン】

保健体育科で身に付けさせたい力・目指す生徒像

- ① 生涯にわたって運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現できる資質や能力の育成
- ② 課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自他を思いやる力の育成
- ③ 生涯にわたって、心身の健康を保持増進し、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力の育成

-----以上の3つの目標を達成するために以下のことを重点的に取り組む-----

- ・運動やスポーツに興味や関心をもたせる授業の工夫や、一人一人の能力の差異があっても、達成感や成功体験を多く実感できるような、学び合いの活動を積極的に行う。
- ・課題解決能力の育成を図るために、教師側が知識を刷り込んでいく授業ではなく、生徒自らが考えて学習できるような学びの場を設定する。
- ・保健分野や体育理論との関連性を明確に示し、自ら運動することの重要性を学び、基礎体力の向上を図る。

学習状況及び課題

	1 学年	2 学年	3 学年
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方について理解して、行動できる生徒が増えた。 ・意欲的に授業に取り組む姿勢がある。 ・運動やスポーツの行い方や考え方が乏しい生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方について理解し、率先して行動できる生徒が多い。 ・運動を苦手とする生徒もいるが、どの生徒も一生懸命取り組む姿勢がある。 ・課題は見付けられるが、解決方法を深く思考できる生徒が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方について理解して、自主的に行動できる生徒が増えた。 ・積極的に授業に取り組む生徒と、消極的な生徒との二極化が進んでいる。 ・対話的な学びに、課題のある生徒が多い。
新体力テスト	<p>昨年度、男子は柔軟性・瞬発力・敏捷性、女子は柔軟性・筋持久力が課題に挙げられた。今年度も各種目の特性を生かしながら、体力向上に結びつける補助運動や学習活動を取り入れるとともに、生徒に体力を向上させる必要性を考えさせていきたい。また、今年度の新体力テストの結果が送付された後、生徒に自分自身の体力について考えさせる時間を設ける。</p>		
指導上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業に参加する生徒が多いが、その一方でうまく活動できていない生徒も混在している。生徒一人一人の課題に合った学習方法を明示していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動が好きな生徒が多い。そのため、苦手な生徒が置き去りにならないよう、こちらからのアプローチを積極的に行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒や見学する生徒が、他学年と比較して多いため、見学する生徒が減るように努める。

改善プラン

	1 学年	2 学年	3 学年
学習面	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動、各種目の魅力や特性をより効果的に理解させるために、学習者用端末を活用してデジタル教材を事前に配布して、予習や復習ができるように環境を整えていきたい。 ・ICTの効果的な活用を常に意識して、生徒の主体性を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自他ともに課題解決ができる手段として深い学びができるよう、ICT機器を上手に活用できる環境を設定していく。 ・得意不得意に関わらず、仲間と協力して課題を解決できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動、各種目の魅力や特性をより効果的に理解させるために、学習者用端末を活用してデジタル教材を事前に配布して、予習や復習ができるように環境を整えていきたい。 ・男女混合の活動でも、十分な学び合いができるようにする。
指導面	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一の授業を常に心掛ける。 ・授業のねらいを明確に示し、生徒に考えさせる授業の展開を目指す。 ・各種目でゲームを行う際に、正規のルールに固執することなく、柔軟に設定して全員が意欲的に活動できるように工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一の授業を常に心掛ける。 ・授業のねらいを明確に示し、生徒に考えさせる授業の展開を目指す。 ・基礎的基本的な確実性のある学びが習得できるよう、授業後の振り返りは端的かつ視覚的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全第一の授業を常に心掛ける。 ・授業のねらいを明確に示し、生徒に考えさせる授業の展開を目指す。 ・各種目でゲームを行う際に、正規のルールに固執することなく、生徒自身が考えて設定し、全員が意欲的に活動できるように工夫させる。

評価

- ① 授業アンケート結果による達成度評価
- ② 体力テストの結果考察
- ③ 定期テスト観点別学習状況による評価